

医療安全教育セミナー2019年度冬期

(日本語社会人教育プログラム)

医療事故の原因分析の方法とシステムの改善方法

事前配布資料

期 間: 2019年3月13日(水)~15日(金)

会 場:

東京大学医学部本郷キャンパス
(東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階・ホール)
〒177-0033 東京都文京区本郷7-3-1

主 催:

国際医療リスクマネジメント学会

担当事務局

国際医療リスクマネジメント学会本部

〒113-0033 東京都文京区本郷4-7-12-102

(電子メール) head.office01@iarmm.org

(Tel/Fax) 03-3817-6770

(参加者への注意)

- 1) 会場受付の開始時間
2019年3月13日(水)午前8時
2019年3月14日(木)午前8時30分
2019年3月15日(金)午前8時30分
- 2) テキスト・資料用の特設ホームページを事前参加費支払者にあらかじめお知らせします。
当日の会場では無料WIFIも利用できます。印刷版テキストはございません。
- 3) 領収書は2019 年3月13日朝の会場受付でお取りください。
- 4) 受講修了証は3月15日午後4 時以降に受付でお渡しします。
- 5) 多数の参加者に対する教育プログラムのため、カメラ撮影・ビデオ撮影は他の参加者の迷惑になりますので遠慮ください。

(対象者) 国際医療リスクマネジメント学会会員、日本医療安全学会会員、医療施設経営者、総括医療安全管理者、専従医療安全管理者、専任医療安全管理者、医療安全管理者、歯科医療安全管理者、リスクマネージャー、医薬品安全管理者、医療機器安全管理者、医師、歯科医師、看護師、薬剤師、歯科衛生士、臨床工学技士、放射線技師、臨床検査技師、医療事務関係者、医療産業界関係者、その他の医療従事者。

(1) 安全対策費の診療報酬を申請予定の医療機関の方へ

- 1) 本プログラムは、厚生労働省の診療報酬改定による「医療安全対策」として診療報酬申請に加算する際に、加算の対象となる2018年度の研修教科内容(年間40時間以上)の1部にもなります。この場合は、医療安全基礎講座(2018年7月2日～4日)ないし医療安全教育セミナー(2018年10月26日～28日の3日間)と合わせて申請することをお勧めします。

医療安全基礎講座(2018年7月8～6日の3日間)ないし医療安全教育セミナー(2018年10月26日～10月28日の3日間)受講者の場合: 本プログラムと合わせて合計40時間となります。

上記の医療安全教育セミナーと医療安全基礎講座のいずれとも未受講の方:

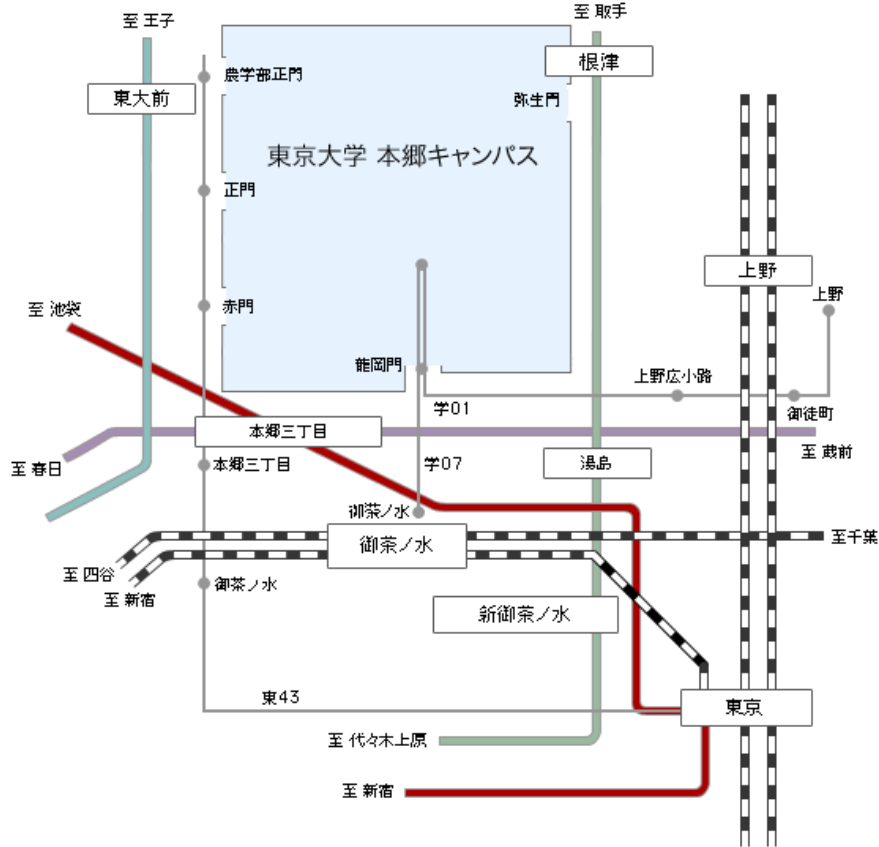
医療安全基礎講座2019年6月12-14日の3日間分)ないし医療安全教育セミナー2019年実践(2019年9月18-20日の3日間分)と合わせて申請ください。

加算申請の際にはプログラムと受講証を添える必要があります。

- 2) 平成22年度診療報酬改定(平成22年告示第69号)により、専従医療安全管理者以外に、専任医療安全管理者が医療安全対策費の対象となります。(厚生労働省説明資料 平成22年3月5日)
(専従の医療安全管理者) 医療安全管理業務のみに特化する。
(専任の医療安全管理者) 主に医療安全管理業務に従事し、他の業務との兼任が可能。
- 3) 上記で厚生労働省通知にいう「専従/専任の医療安全管理者」とは、医師、看護師または薬剤師などの医療有資格者であり、事務職員は含まれません。

(2) 本プログラムは、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度ならびに学会認定「高度医薬品安全管理者」資格制度での必須科目の一部ともなります。

交通案内



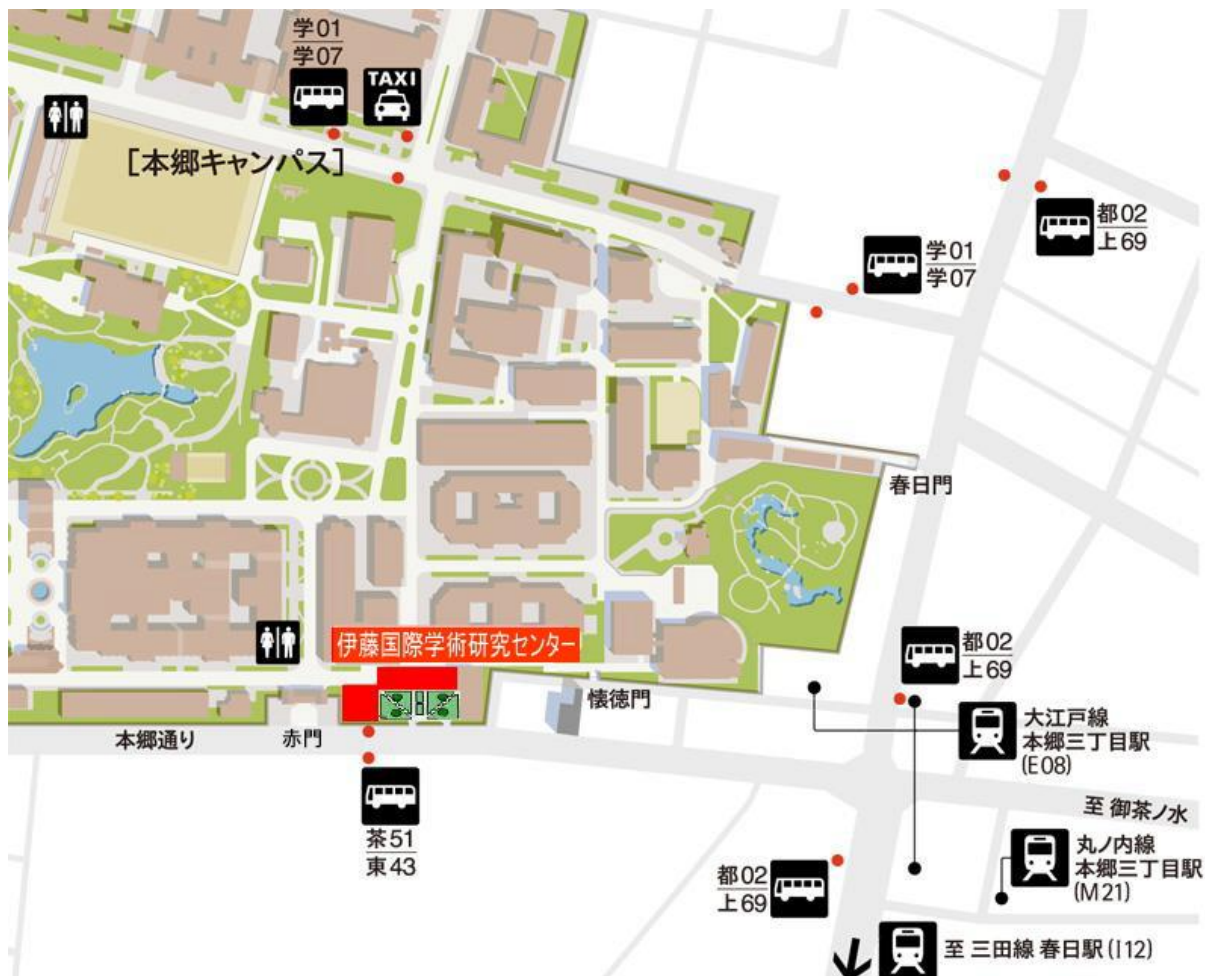
最寄り駅	所要時間
本郷三丁目駅(地下鉄丸の内線)	徒歩 8 分
本郷三丁目駅(地下鉄大江戸線)	徒歩 6 分
湯島駅又は根津駅(地下鉄千代田線)	徒歩 8 分
東大前駅(地下鉄南北線)	徒歩 1 分
春日駅(地下鉄三田線)	徒歩 10 分

御茶ノ水駅 (JR 中央線、総武線)	地下鉄利用	丸の内線(池袋行) — 本郷三丁目駅下車
	地下鉄利用	千代田線(取手方面行) — 湯島駅又は根津駅下車
	都バス利用	茶 51 駒込駅南口又は東 43 荒川土手操車所前行 東大(赤門前、正門前、農学部前バス停)下車
	学バス利用	学 07 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車
御徒町駅 (JR 山手線等)	都バス利用	都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 本郷三丁目駅下車
		都 02 大塚駅前又は上 69 小滝橋車庫前行 — 湯島四丁目下車
上野駅 (JR 山手線等)	学バス利用	学 01 東大構内行 — 東大(龍岡門、病院前、構内バス停)下車

会場案内

TEL 03-3812-2766

東京大学伊藤国際学術研究センター



飲食について

センター内での飲食は一切禁止されています。

当日は、学内のすべての飲食店・生協などが開店しています。

飲食には下記をお勧めします。

東大安田講堂地下食堂

東大正門~本郷三丁目交差点付近に多数の飲食店があります。

講演会場: 東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階・謝恩ホール

演習会場: 東京大学伊藤国際学術研究センター地下2階・多目的ホール

演習は小グループ(6名/グループ)により行います。

プログラム

(第1日目) 2019年3月13日(水) 午前9時～午後5時

事故を防止するためのヒューマンファクター学と根本原因分析法(RCA)演習

受付開始 午前8時

午前9時 開 会

午前9時～午前9時10分 (全体ガイダンス) 研修会の進め方

講師: 新村 美佐香 (横浜病院グループ医療安全推進部部长、菊名記念病院医療安全管理室室長)

午前9時10分～午前12時 (講義 I) 事故の原因分析の方法とシステムの改善方法

講師: 小松原 明哲 (早稲田大学 理工学術院創造理工学部・研究科経営システム工科)
(内容) ヒューマンファクターにおける事故原因分析とシステム改善の考え方を講義する。

午前12時～午後1時 昼食

午後1時～午後5時 (ガイダンス・実習 I) 根本原因分析法(RCA)

講師: 宮本 智行 (森山記念病院、前東京医科歯科大学)
(内容) 実際に発生したミスのシステム内部の原因を探索し、組織としての改善策を見出すRCAの方法を説明し、RCA実習を行う。

午後5時 第1日目閉会

(第 2 日目) 2019 年 3 月 14 日(木) 午前 9 時～午後 6 時

設計故障モード影響解析 (FMEA) の演習

入室開始 午前 8 時 30 分

午前 9 時～午前 10 時 50 分 **(講義 II) 医療におけるヒューマンエラーとヒューマンファクターとは**

講師: 西隈 菜穂子 (近畿大学医学部附属病院患者支援センター室長)

午前 11 時～午前 12 時 **(ガイダンス) 設計故障モード影響解析 (FMEA)**

講師: 新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

午前 12 時～午後 1 時 昼食

午後 1 時～午後 6 時 **(演習 II) 設計故障モード影響解析 (FMEA)**

講師/実施担当: 新村 美佐香 (菊名記念病院医療安全管理者)

(内容) 設計故障モード影響解析 (FMEA) の方法を少人数グループで修得する。

午後 6 時 第 2 日目閉会

(第 3 日目) 2019 年 3 月 15 日(金) 午前 9 時～午後 4 時

危険予知訓練(KYT)の演習

入室開始 午前 8 時 30 分

午前 9 時～午前 12 時

(ガイダンス/演習 III)

危険予知訓練法(KYT)

講師: 堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 前医療安全対策室)

(内容) 院内に潜む医療ミスの原因を予知する個人の能力を向上する KYT を説明し、危険予知訓練(KYT)の方法を少人数グループで修得する。

午前 12 時～午後 1 時

昼食

午後 2 時～午後 4 時

(全体討論会)

座長: 新村 美佐香 (横浜病院グループ医療安全推進部部长、菊名記念病院医療安全管理者)

堀田 まゆみ (東海大学医学部附属大磯病院 前医療安全対策室)

(内容) 以上 3 種類の演習を通じて、演習参加者自身による討論会を行います。

午後 4 時

全体閉会